

入場無料
予約不要

2020年2月1日 (土)

BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

第98回 アントロポセン（人新世）とバイオミメティクス その5：エネルギー



2018年9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震の影響による北海道ブラックアウト。北海道全域という広範囲・大規模な停電は日本の電気事業始まって以来の事象であり、現代社会がいかに電気の利用を前提としているかを認識する機会でもあった。

また、ブラックアウトの発生後、太陽光発電や風力発電、バイオマス発電などを活用した地産地消型の電力システムである「マイクログリッド」への期待が高まっている。本講演では、ブラックアウトが発生したメカニズムから、マイクログリッドの理想と現実について概説する。



ブラックアウトの教訓と マイクログリッド 原 亮一

北海道大学大学院情報科学研究院 准教授

主催：北海道大学総合博物館
共催：高分子学会北海道支部
北海道大学 電子科学研究所
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会
高分子学会バイオミメティクス研究会
公立千歳科学技術大学地域連携センター

北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場：北海道大学総合博物館 3階 北講義室(N308)
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から午後3時30分